

地層から身近な地域の大地の変化の歴史を知るには何を調べればよいか

柱状図 → () もの

- ・ほかの場所の地層と比較することで大地の様子を推測できる
- ・柱状図はボーリング資料からつくることができる

地質調査などのために地中に細く深い穴を掘って調べること。

岐南中の校舎を建てるときにボーリング調査をしています。その時の地質標本と地質柱状図が保管してあります。授業再開後に見せます。

考察しよう

(教科書P245の「柱状図とスケッチ」から考えよう)

砂岩

火山灰

砂岩

火山灰

砂岩

火山灰

砂岩

砂岩(れきを含む)

泥岩

①堆積した順序・下にある層から堆積
水平な地層→ () にある地層が古い

②当時の環境③過去の出来事

- ・火山灰の層→ () のくり返し
- ・れきを含む砂の層→水深が () かった
↓ この間に土地の () があったのでは
- ・泥岩の層→水深が () かった

観察から いくつかの地点で柱状図を比較→地域全体の地層の広がりを見推測

データを読みとろう

- ・火山灰の層が () つある→ () 回以上の ()
 - ・ () い海→ () い海→ () →3回以上の火山噴火
- ← 泥岩 ← 砂岩

地層の広がり はなれた2地点ので同じ地層→地層の広がりを見推測

《まとめ》

学びを活かして考えよう

自分の考えを書こう

《振り返り》